

報告事項ソ

平成25年度伝統芸能功労団体賞について

平成25年度伝統芸能功労団体賞について、別紙のとおり報告します。

平成25年5月22日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

# 平成25年度伝統芸能功労団体賞知事表彰について

平成25年5月22日

文化財課

このたび、平成25年度伝統芸能功労団体賞知事表彰の被表彰団体が決定し、下記のとおり第4回とっとり伝統芸能まつり（鳥取県・鳥取県教育委員会主催、第49回郷土の民俗芸能大会と併催）で表彰式が行われました。

## 記

### 1 被表彰団体

団体名	所在地	代表者	功績概要
江尾十七夜保存会	江府町	たけうち としろう 竹内 敏朗	県無形民俗文化財指定を機に、昭和49年に保存会を結成。それ以前から江府中学校に、平成に入ってから江尾小学校にも演技指導を行い、保存伝承に尽力した。

### 2 表彰式

(1) 期日 平成25年5月19日（日） 午後2時から

(2) 会場 倉吉未来中心大ホール（倉吉市駄経寺町）

### 3 表彰の概要

(1) 趣旨 県内の伝統的な芸能の保存団体の中で、後世への継承のために特に活発に活動をしている団体に対し、その功労をたたえて表彰し、もって本県の伝統的な芸能の保存・継承を推進することを目的とする。

(2) 表彰者 鳥取県知事

伝統芸能の概要

江尾のこだいち踊（えびのこだいちおどり）

毎年8月17日の「江尾十七夜」の宵に、編み笠、浴衣姿の踊り子多数が、太鼓、音頭に合わせて優雅に踊る盆踊りで、昭和49年に県の無形民俗文化財に指定されている。

この踊りを「こだいち」というのは、有名な新保広大寺節の口説をまねて歌い踊られたからと推測されるが、当地に伝わった経緯は不詳である。

その由来は、江尾城主蜂塚安房守は、17日の夜に城内を開放して踊りの会を催すのを常としていたが、永禄8年（1565）に落城。その後住民が城主を慕い、毎年盆の17日に供養踊をしたことからと伝わっている。

踊りは、大太鼓を中心とした円形で踊るもので、ゆったりとしたなかにも、手の返しや足さばきなどに細かい動きがみられる風情のあるものである。



<参考>これまでの被受賞団体

年度	被受賞団体
H16	因幡の傘踊り保存会（鳥取市：県指定）円通寺人形芝居保存会（鳥取市：県指定）淀江さんこ節保存会（米子市：市指定）日南神楽神光社（日南町：町指定）
H17	江波三番叟保存会（鳥取市：県指定）倉吉打吹太鼓振興会（倉吉市）米子盆踊保存会（米子市：県指定）
H18	覚寺麒麟獅子舞保存会（鳥取市）覚寺さいとりさし保存会（鳥取市：市指定）東郷町浪人踊保存会（湯梨浜町：県指定）倭文神社大名行列保存会（倉吉市）
H19	賀露神社麒麟獅子舞保存会（鳥取市：県指定）宇野三ツ星盆踊り保存会（湯梨浜町：町指定）
H20	三朝町さいとりさし踊り保存会（三朝町：県指定）法勝寺歌舞伎保存会（南部町：町指定）
H21	せきがねさいとりさし保存会（倉吉市：県指定）芦津獅子舞保存会（智頭町：県指定）
H22	日置はねそ音頭保存会（鳥取市：県指定）小松谷盆踊保存会（南部町：県指定）
H23	勝部岩力踊り保存会（鳥取市：市指定）泊貝がら節保存会（湯梨浜町：町指定）
H24	越路雨乞踊り保存会（鳥取市：県指定）